



【新幹線定期報告】

令和3年5月17日  
新幹線事業対策室

1. 概況（九州新幹線西九州ルートへの進捗）

令和3年4月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況（武雄温泉・長崎間）（R3.4月末時点）

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km（長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km） ・本線土木工事は、R2.9.23をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 <b>29 工事が竣工（R3.5.14 時点）</b>		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	鉄骨組立や屋根の施工が完了し、外装も概ね完了、内装などを施工中
		諫早駅	鉄骨組立や外壁、屋根の施工が完了し、内装などを施工中
		長崎駅	鉄骨組立や <b>屋根の施工が完了し、外装も概ね完了</b> 、内装などを施工中
軌道工事	レール敷設はルート全体で約 <b>58km、約 88%</b> が完了 長崎県内では約 <b>41km、約 83%</b> が完了 （東彼杵町・大村市内はレール敷設完了、諫早市・長崎市内で順次レール敷設中）		
電気工事	<b>大村車両基地における電気設備の監査・検査について、既に行われている変電設備に続き、配電設備でも開始</b> （ルート全体の電気工事進捗率は約 <b>71%</b> ）		
機械工事	新大村駅は可動式ホーム柵工事を <b>施工中</b> 長崎駅はエレベーター、エスカレーター工事を施工中		
大村車両基地	造成工事が終わっており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や、電気施設工事（架線工事等）も順次実施中 機械設置工事については、 <b>車両から台車を外すときに車体を持ち上げる装置の工事中で、新たに車両を点検・清掃する装置を設置開始</b>		

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。  
 ※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。  
 ※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる  
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.4月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.9 ha	18.9 ha	10.3 ha	70.8 ha
取得済面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.6 ha	18.9 ha	10.1 ha	70.4 ha
進捗率	100%	99%	100%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。  
 ※買収予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。  
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

## 2. 入札公告・結果

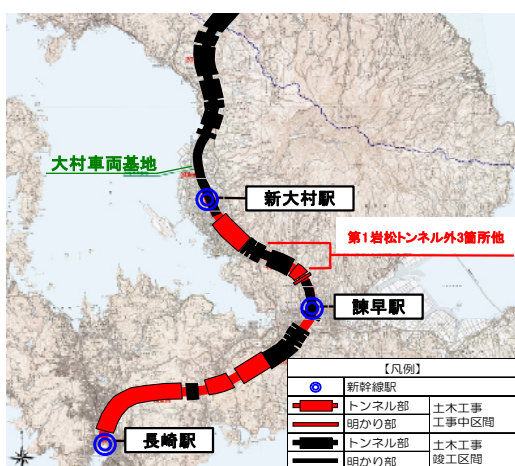
令和3年4月15日から5月12日までに、工事1件、委託1件（長崎県1件）の入札が行われた。

## 3. 工事の竣工

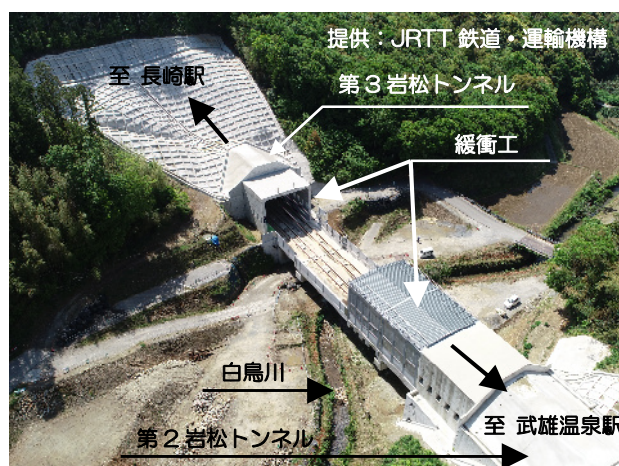
大村市岩松町から諫早市下大渡野町において進められていた「第1岩松トンネル外3箇所他」の工事が、令和3年5月2日に竣工した。

この工事では、工事長3,812m間で3本のトンネルを始め、橋りょう下部工（橋台と橋脚）、高架橋、緩衝工（新幹線がトンネルを出入りする際の騒音を防止するために、トンネルの出入り口に設置されるもの）、保守用斜路などさまざまな構造物の施工が行われ、また工事で発生した残土を活用した新諫早変電所の土地造成も併せて行われた。

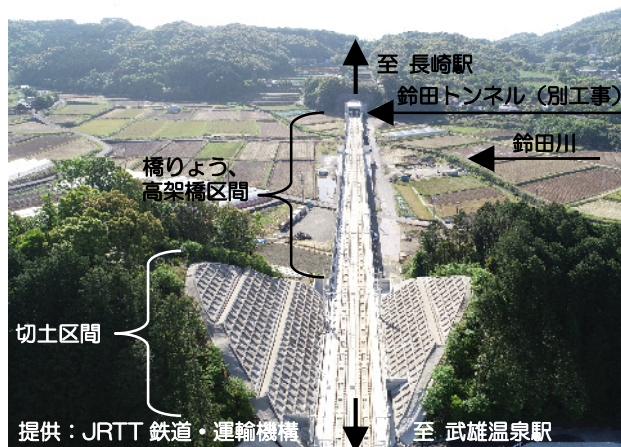
この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事40工事のうち29工事が竣工した。



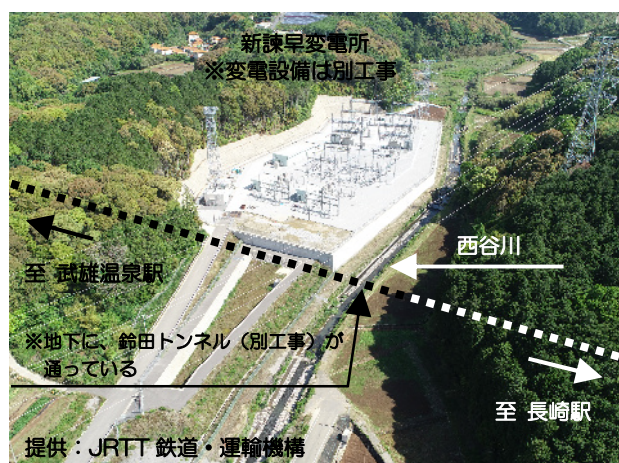
位置図



白鳥川付近



第2小川内架道橋上空から鈴田トンネルを望む



新諫早変電所

## 4. JR九州による路線名称の決定

令和4年度秋頃開業予定の九州新幹線西九州ルート（武雄温泉・長崎間）の路線名称を「**西九州新幹線**」とすることが決定したと、令和3年4月28日JR九州が発表した。